

# 伊那谷の"屋根のない博物館"の"屋根のある広場"へ ～「高遠ぶらり」プロジェクト:「地域で知るを楽しむ情報基盤創世」と「共に知り・創る場」のプロデュース～

伊那市立図書館（長野県伊那市）:【URL】<http://www.city.ina.nagano.jp/list.rbz?nd=500&ik=1&pnp=500>  
高遠ぶらりプロジェクト:【URL】<http://takato-burari.info/> 【Facebook】<https://www.facebook.com/takatoburari>

## 基本データ（数値はH25年現在）

住所	伊那市荒井3417-2
電話番号	0265-73-2222
人口（図書館が所在する市町村）	70,579人
職員数（うち有資格者数）	24人（10人）
蔵書数	405,022冊
登録者数	56,828人
年間貸出冊数（H24）	523,580冊

## 目的・趣旨

1. 地域の知の共有地の創生（地域情報資産の蓄積・活用基盤、特にデジタルアーカイブ/コモンズ）
2. 地域で共に知り・創る場のデザイン

## 取組概要

地域の自然環境とそれに働きかけてきた人々の暮らし、ヒト・モノ・コト全体を“伊那谷の屋根のない博物館”と考え、その中で人々が交流し、新しい知を育む“屋根のある広場”を目指す。

そのために、「高遠ぶらり」プロジェクトでは、タブレット型携帯端末用アプリケーションの制作と、この過程での参加型講座を通じて、地域で知る情報基盤の構築と“実感”ある知の獲得を楽しめる場づくりを目指している。

- 高遠ぶらりプロジェクトの取組
  1. タブレット型携帯情報端末用のアプリケーション、デジタル古地図「高遠ぶらり」の制作。
  2. アプリケーション制作過程での参加型講座の実施
  3. 地域学習・観光への参加型プログラムの企画開発・提供



タブレット端末に表示された  
絵図・説明

## 特徴

- 市民参加型のワークショップ形式（制作委員会方式）による運営  
本プロジェクトは伊那市立図書館がオーナーであるが、地域資料のデジタル化作業や参加型講座の企画・実施は市民が主体の制作委員会方式で行っている。
- 参加型講座による展開  
本プロジェクトの基本は「地域情報はデジタル化したら必ずリアルな場に返す」。単に電子情報の蓄積保存にとどまらず、その「活用」を前提としている。年2回の地図追加・アプリ更新にあたっては、最低でも各2回の参加型講座を実施し共創の場をデザイン。
- 学校・社会教育、観光との協働  
制作されたアプリ及びウォークラリーなどのプログラムは小学校・ボーイスカウト等の地域学習や観光客に提供。また、地元高校では、デジタルコンテンツの制作や、地域情報の収集・発信を授業として実施。成果物はアプリや紙媒体として配布されている。
- 広域文化圏における様々な活動主体との協働・共創  
協働先は地元自治体地域内にとどまらず、周辺広域において、国交省・観光協会などの団体、郷土研究組織など市民社会組織にも拡大している。



## 取組の成果と今後について

伊那市立図書館は、本取り組みなどにより、平成25年10月、NPO 法人知的資源イニシアティブ主催の Library of the Year 2013 の大賞を受賞。「図書館というハコや仕組みの枠を超えた新鮮な提案と推進により、新しい公共空間としての地域図書館の可能性を広げた。新しい知るスタイルを提案しつつ、地域で知を育む、地域資源の創生を地道に展開している」との評価を得た。

今後も引き続き地域の多様なステイクホルダーと共に「地域から知る」基盤を整えていく。